

第3学年道徳学習指導案

1. 主題名 友達と互いに理解し合って 内容 中2-(3)

資料名 「同じなかまだから」(「わたしたちの道徳 小学校3・4年」文部科学省)

2. 主題設定の理由

○ 人はだれしも、一人では生きていけない。人は、多くの人との関わりの中で、自己を磨き、よりよい生き方を求めていくものであり、多くの人たちとの出会いが、人生をより豊かにしてくれるのである。人生において出会う人の中でも友達は、自分の人生を豊かにしてくれるとても大切なものである。そのような友達との関係の間にあるものが、友情である。

しかし、人には、自分の利害だけを考えて、思わず相手を傷つける発言や行動をしてしまうところがある。児童が自分の考えだけでなく友だちの考えも理解し、その上で行動できるような態度を養うことは、今後の生き方に大きく関わってくる、自己中心的な考えから友だちを受け入れるのではなく、友だちと支え合い、助け合うことによって、自分だけではできないこともできることに気付いていって欲しい。本当に相手のことを考え、信頼し助け合える関係の上に成り立つ友情や、そのような友達関係を築いていこうとする態度を養うために本主題を設定した。

○ 本学級の児童は、明るく活動的で、困っている友だちにも思いやりをもって接することができる。これまでも、道徳の時間や各教科等の指導において友達関係に関する指導を続けてきた。2学期になり目標に向かって友達と協力したり、積極的に活動したりする姿が多く見られるようになってきた。体育大会の前には、休み時間にダンスの練習を進んで行い、友だちと誘い合ってみんなで楽しく踊っている姿や、イベント系の呼びかけで、ゲームを楽しむ姿が見られた。しかし、なかなか友だちの輪の中に入られず一人で遊んでいる児童や、遊びの中でゲームの進行を妨げたり、「仲の良い子と一緒にやりたい」「一緒にチームになりたい」という気持ちが強くでてしまったりするなど、自己中心的な行動をしてしまう児童も見られる。

○ 本教材は、自分が勝つために運動の苦手な光夫を競技から外そうとするひろしやクラスのみんなに対して、とも子はその考えは間違っているということに気付き、そのことをはっきりと伝える姿を描いたものである。授業では、「なかま外れはいけない」「同じなかまだ」というとも子の変化していく気持ちを話し合う中で、なかまの大切さをや友達の立場に立って助け合う気持ちについて考えさせたい。また、弱い立場の人を仲間外れにせず、お互いの思いを理解し友だちを大切にしようとする心情を養いたいと考える。そして、友達と助け合った経験やそのときの思いなどを話し合うことで児童自らが自分を振り返り、よりよい友達関係を築いていこうとする態度を育みたい。

3. ねらい

運動が苦手な友達を自分のチームから外そうとするひろしに対して、転校していった友達からの手紙を思い出し、ひろしの誤った考えを正そうとしたひろ子の思いについて話し合うことを通してと友達のことを理解し、助け合い、よりよい友達関係を築いていこうとする態度を育てる。

4. 展 開

	学習活動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
導入	1、友達とい て楽しいと きについて 話し合う。	○友達といて楽しいのは、どんな時ですか。 ・一緒に遊んでいるとき。 ・話しているとき。 ・一緒に入れるだけで楽しい。	・友達といて楽しいときについて自由に話し合わせ、本時のテーマにつなげるようにする。	

<p>展開</p>	<p>2、資料「同じなかまだから」を読んで、話し合う。</p> <p>3、自分自身を振り返る。</p>	<p>○とも子は、どんなことを思いながら自分の席に戻ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みつお君が休んだら勝てるけど、それでいいのかな。 ・みつお君にも出てほしいけど、負けてしまう。 <p>○転校していったよし子からの手紙を読んで、はっとしたとも子は、どのようなことを考えただろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よし子さんもつらい思いをしているんだろうな。 ・私たちも同じことをしようとしているんじゃないの。 ・みつお君を外したらだめだ。 <p>◎ひろしさんやクラスのみんなに「光夫さんを外して勝とうとするなんて、間違っていると思うの。」と厳しくはっきりと言ったひろ子が伝えたかったことは何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間はずれにされる光夫のつらさなどを考えたから。 ・光夫も自分たちのクラスの大切な仲間だから ・みんなで競技に出ないと意味がない。 <p>○とも子は、「台風の日」を光夫、ひろしと一緒にどのような思いでやっているんだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間はずれにしないでよかった。 ・みつおだけでなくひろしにとってもよかった。 ・誰かを仲間から外すのはよくな。 ・仲良くした方がみんな楽しい。 ・3人で協力して絶対勝つぞ。 <p>○友達と助け合ってよかったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係活動の時、みんなで協力してがんばれた。 ・運動会のダンスの時に、みんながうまく踊れてとても気持ちが良かった。 ・体育の時間に、チームで協力しながら作戦を考えたり練習したりすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろしの提案に困ってしまうとも子様子から、勝ちたい気持ちと光夫を休ませてはいけないという気持ちの間で揺れる姿について共感させる。 ・転校していったよし子からの手紙を思い出したことで、自分たちもみつおを傷つけてしまうことになると思う主人公の気持ちについて考えさせる。 ・ひろ子以外のクラスの様子やひろしの言動を押さえ、周りに流されることなく光夫のことを本当に思っているひろ子の思いについて考えさせることで、本時のねらいに迫れるようにする。また、ワークシートに書き込むことでじっくりと考えさせ、それを基に話し合えるようにする。 ・3人で力を合わせえ競技に参加する様子を黒板に掲示し、3人で出場することができた主人公の心情について話し合わせることで、よりよい友達関係を築くには相手の気持ちを理解することや、助け合おうとする気持ち大切なことに気付かせたい。 ・日常生活や各教科等の学習などで感じたことなどを自由に話し合わせ、友達と助け合うことのよさや友情について、考え深められるようにする。 	<p>挿絵 ワーク シート</p>
<p>終末</p>	<p>4、指導者の話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活で見られる児童の姿や指導者自身の体験について話すことで、友達と助け合いよりよい友達関係を築いていこうとする意欲を高めるようにする。 	